

2025 年 12 月 5 日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行

MUFG トランジション白書2025の公表について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）と
連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一）は、本日、
「MUFG トランジション白書2025」（以下 白書4.0）を公表したことをお知らせいたします。

（ウェブサイトへのリンク）

MUFG トランジション白書 <https://www.mufg.jp/csr/report/transition/index.html>

MUFGは、「世界が進むチカラになる。」というパーパスのもと、2021年に「MUFGカーボンニュートラル宣言」を公表し、2050年のカーボンニュートラル（以下 CN）実現に向けてさまざまな取り組みを進めています。その一環として、2022年から「MUFG トランジション白書」の活動を開始し、日本のCNの方向性や必要とされる取り組みを世界に向けて発信しています。

昨年9月に公表した「MUFG トランジション白書2024」から1年が経過し、CNを巡る国際情勢はこれまで以上に大きく変化しています。白書4.0では、激変する国際環境について、これまでの白書シリーズで取り上げてきた欧州・米国に加え、中国・インド・ASEAN諸国のCNの方向性や投資動向を整理しています。

また、日本がトランジションの取り組みを本格化させる中で直面している課題として、これまで議論してきた「トランジション課題（CNへの移行過程そのものに内在する課題）」に加え、「産業特有の課題（各セクターが自らの競争力を維持・強化する上で克服すべき課題）」も取り上げています。さらに、日本全体のCNを進展させるという観点で、「エネルギー供給側のセクター」のみならず、素材セクターなどの「エネルギー需要側のセクター」にも焦点を当てています。そして、各セクターが抱える課題に対する解決の方向性について、産業界における取り組み事例も示した上で、これを支える政府や金融機関の役割についてもまとめています。

CN投資の進展により既存の産業構造やサプライチェーンが大きな変革期を迎える中、MUFGは、産業を支える金融機関として、CNに向けた支援のあり方を発信し続けるとともに、グループが持つ幅広い金融ソリューションを通じてお客さまのCN投資を支えてまいります。

以 上